

海風へむかひ並べり夏燕 主宰 細野恵久 福祉3期

焼け跡の消えぬ石垣原爆忌 増田和子 食文1期

流灯の向きそれぞれや被爆川 三枝邦光 美工5期

百代の樽の呼吸や夏木立 國永靖子 音文6期

地鎮祭祝詞掻き消す蟬時雨 猿橋二三雄 福祉8期

サングラス已韜晦かつこよく 加藤善巳 美工8期

児の頬にそっと触れさす合歓の花 太田 實 国際9期

夏の午リハビリ器具のわが寡黙 大下絹子 国際15期

青柿のころころ走る夜の坂 中村建生 国際15期

風鈴やケーブルカーの運転席 藤本武子 国際15期

瀛江背に太極拳ぞ夏の朝 山下 進 国際15期

万緑や室生寺に咲く野点笠 許斐國照 食文15期

通信簿娘の愚痴に団扇風 沖本尻辺子 国際17期

おひねりを今かと力む夏芝居 香春早苗 国際17期

アーケードかぶと虫釣る街の子ら 仲田眞輔 国際17期

惜敗の涙隠せず白帽子 中村富美子 国際17期

コーラスの和声乱るる暑さかな 宮本眞貴子 国際17期

濡れタオル被る亡母と草むしり 宮本公子 健福17期

耳鳴りに共振したり蝉しぐれ 大山吉春 国際18期

女郎花群れゐて淋し黄を尽くす 小栗恭子 健福18期

振花や竜巻のごと地より立つ 潮江敏弘 健福18期

新秋の朝一番の白湯を飲む 野見山剛 健福18期

片陰を拾ひて向かふ投票所 今井義和 美工20期

遠花火漫ろに過ぎし日々のこと 尾崎吾郎 美工21期

願い込め御手洗祭の白い足 黒木早苗 食文21期

先着順の日傘の列に並びけり 宮脇暁美 食文21期

盆踊り供養と念ずこの度は 大歳敦子 健福22期

秋の雷卓の上には銀の匙 大田直子 生還22期

あの声はこの空蝉の生き様か 藤川敏子 国際22期